

ジャパンフィッシングフェスティバル'15は1月末に

日釣工理事会で決議

(一社)日本釣用品工業会(島野容三会長)で

は一般社団法人としての第3回理事会を去る9月

26日、東京・八丁堀の日

本フィッシング会館で開

催した。

理事会では、まず島野

容三会長が挨拶、「国内

の景気はアベノミクス効

果があり、若干プラス傾

向が続いている。釣り業

界はタイムラグがあるが、

これから期待したい」と

述べた。そして、定足数

を確認、前回の理事会議

事録を確認して各議案を

審議した。

第1号議案の委員会等

交換会で要望を聞いた。

また出展社の申し込み状

況についても報告した。

規格・安全委員会に関

しては藤井治幸委員長と

事務局より報告。新たな

ワーキンググループ設立

について(仮称)ライフ

ジャケット安全啓発WG

を設立、装着率アップな

ど取り組む。ワーキング

グループ活動では、他に

釣系WGは釣系JAFFS

基準の遵守に向けた今後

の予定に関してアンケート

を実施を報告。釣用品

WGは釣用加工品の製品

トを実施を報告。釣用品

WGは釣用加工品の製品

安全ガイドライン(案)

作成と発信を報告。

市場調査委員会に関し

ては宮澤政信委員長が報

告。第17回釣用品の国内

需要動向調査実施につい

て、回答率アップのため

の対策及び調査内容改善

策、トレンド調査実施で

対象をソルトウォーター

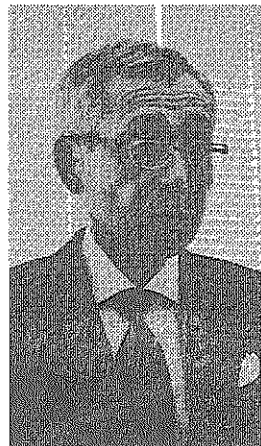
とする。女性に関する

意識調査を実施、今後

の日程など説明。

第2号議案の企画プロ

ジェクト活動に関しては



島野容三会長が理事会で挨拶を

要因について、3月に

開催を移し、T字戦略と

して「より広く」「より

深く」をテーマに新たな

釣人の拡大に取り組んだ

2回の開催は意義があつ

たこと、様々な観点から

検討してきたが、釣り業

界として将来に向けたグ

ランドデザインを描き、

つり環境ビジョン事業と

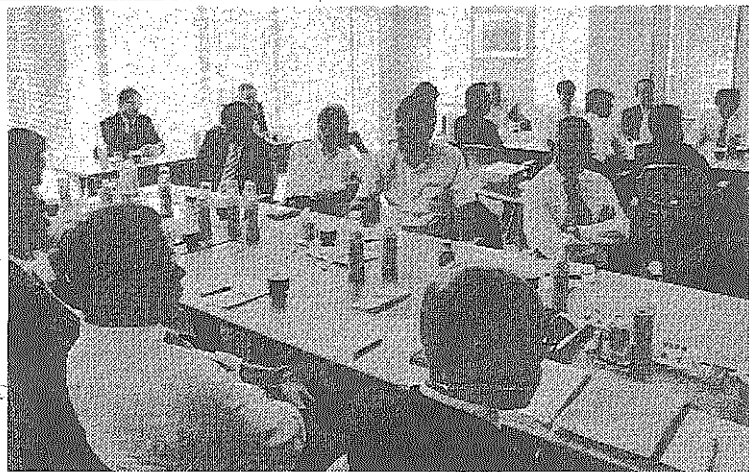
連携しながら新たな釣人

の拡大に年間を通して取

り組んでいくこと、開催

同時期に開催された他の

イベントなど内的・外的



日釣工はフィッシング会館の会議室で理事会を開催

を検討するに当たり1月

末にパシフィコ横浜で開

催可能という情報がある

こと、これらの検討結果

をふまえ真摯に審議し採

決した結果、満場一致で

2015年より1月末の

開催に決した。

第3号議案の入・退会

会員に関しては、事務

局より、資料に基づき報

告した。

第5号議案は(一社)

日本釣用品工業会規則改

正に関して、会計処理に

関する件、会費施行規則

改正に関する件を報告。

顧問税理士変更に関する

件も報告した。

第6号議案は平成26

27年度の理事・監事の選

任に関する件を報告。

第7号議案・その他の

報告承認事項に関する件

は会長・専務理事の職務

執行状況を報告。理事会

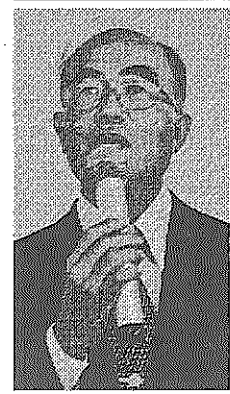
と常任理事会の開催日の

変更に関する件も報告。

以上をもって、第3回

理事会の議案審議が終了

したので散会した。



利井為今流放の環境ビジョンの専務理事が説明

「新製品を見たい」に応

つる要因になったこと、

開催可能なイベント会場

を確保するため再考する上

で

「新製品を見たい」に応

つる要因になったこと、

開催可能なイベント会場

を確保するため再考する上

で